

「モノづくりにおける LLM 活用の DX 最前線」

(※LLM=Large Language Model : 大規模言語モデル)

A I 革命によるデータパラダイムの転換、ハードウェア／ソフトウェアの主従逆転の時代を迎え、グローバルなデジタル市場の変化、日本のいわゆる「デジタル赤字」状態の中、あらためて「日本の強み×デジタル」で未来を切り開いていくべき時が来ています。

そのような中、日本の強みである『モノづくり』（ソフト、ハード含む）においても DX 化が加速しており、I o T や A I 技術を生かし、人と機械の役割分担を適切に設計していくことが重要です。そのための強力なツールである L L M （大規模言語モデル）と、科学的方法を活用した DX の最前線について、大阪成蹊大学データサイエンス学部学部長の小山田 耕二 教授をお招きし、セミナーを開催します。

経営力向上委員会委員長 神谷 坦

日 程 2026年3月5日(木) 15時00分～16時30分

テーマ「大規模言語モデル(LLM)導入とプロンプト設計のコツ」(仮)

講 師 大阪成蹊大学 データサイエンス学部
学部長 小山田 耕二 教授



最終学位：京都大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程修了 工学博士

主な経歴：日本 IBM (株)、岩手県立大学、京都大学大型計算機センター、

同大学国際高等教育院等を経て、2003 年より京都大学学術情報メディアセンター、現在、大阪成蹊大学データサイエンス学部教授、学部長。

可視化情報学会名誉会員、日本シミュレーション学会理事、日本学術会議会員。

小山田 耕二 教授

講演概要：モノづくり現場における LLM 活用について、科学的方法と「カイゼン」の視点から体系的に解説。

例えば、たくさんのマニュアルや過去の資料を読み込んで、「こんな場合はどうすればいいの？」という質問に応えてくれるようになります。そのようなプロンプト設計・LLM との対話の循環・知識継承など、IT 技術者にとって大きなヒントとなるポイントを具体的に紹介します。

参加方法：ハイブリッド（会場・オンライン選択可）

会 場：大阪科学技術センター会議室（大阪市西区靱本町 1-8-4）

※会場参加の方は講演後に懇親会有り（17:00～18:30 大阪科学技術センター近辺を予定）

【参加費（税込）】

| 区分 | 講演会(会場・オンラインとも) | 懇親会 | 徴収方法 |
|-------------------------|-------------------------|-----------|------|
| KEIS 組合員・事業協力会員・BL 特別会員 | 2,500 円/人(同一企業2人目以降千円引) | 4,500 円/人 | 後日請求 |
| KEIS 非組合員 | 3,000 円/人(同一企業2人目以降千円引) | 4,500 円/人 | 当日徴収 |

※「懇親会」開催日 2 日前迄のキャンセルではキャンセル料は発生しません。前日からはキャンセル料（2,500 円税込）を負担頂きます。

【申込方法】
右 QR コードから
お申込みください。



【主催・お問合せ先】

関西電子情報産業協同組合(KEIS) HP: <https://keis.or.jp>
大阪市西区靱本町 1-8-4
大阪科学技術センター5F
tel:06-6447-1978 Mail:office@keis.or.jp